

調査・研修報告書(議員用)

報告者：山田聖三

実施場所：福岡市博多区 リファレンス駅東ビル

実施日：平成30年1月31日
～平成30年2月1日

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状など)

自治体財政の基本用語及び財政状況資料の見方等、議員の基本知識としての財政研修を受ける。

■参考とすべき事項

自治体経営コンサルタント(元廿日市市副市長)川本達志氏より、総務省作成の平成27年度決算財政状況資料をもとに、資料の見方や財政比較分析の仕方について、講義を受ける。市町村財政比較分析表における財政力、経常収支比率、将来負担比率、実質公債費比率等の比較分析により、本市の状況について再認識をする。

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきかなど)

議員の基本知識として財政用語の理解や財政状況の把握は重要であり、外部からの本市財政への意見も聞く必要があると考える。

議員研修の一つとして外部講師による財政研修も必要ではないか。